

町長	助役	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	1806		
		決裁期日	平成19年 1月29日		
名称	臨時課長会議会議録				
日時	平成19年1月29日 午後1時00分から2時15分				
場所	第2会議室				
出席者	町長、助役、教育長 各課長（12名 代理出席2名を含む）、消防（2名） 説明員（政策財政班主幹、同主査、行革推進班主幹） 事務局（総務班主査）				

内容

町長あいさつ

- ・厳しい財政状況の中、平成19年度予算（案）がまとまったので内示したい。
- ・本年度から枠配分方式を採用した。各課でそれぞれ内部協議されたと思うが、まちづくり全体の中で、各課からの要求内容と全体的な整合性を図る視点から、町長査定を行った。
- ・全会計総額で、11,392,984千円（2.2%減）（一般会計 6,250,000千円 7.0%減）となった。
- ・歳入、歳出のバランスの取れた財政構造を目標として取り組んでいるところであり、前年度に比べると、歳入不足は大きく減額されているものの、歳入不足については、基金支消等で対応している。平成20年度予算にあっては、基金に頼ることのない予算編成を目指していかなければならない。

1 平成19年度予算（案）の内示について

企画財政課長・政策財政班主幹：資料に基づき説明する。

助役：企画財政課から説明のとおり、平成19年度の予算内示としたい。まず、一般会計について、各課長から意見を求める。

全体：特に意見等なし。

助役：他会計について、特徴的な部分について担当課長より説明を求める。

他会計担当課長より、会計ごとに特徴部分の説明あり。

助役：細部での変動要素もあるようであるが、早々に確定したい。今後、所管委員会、予算特別委員会の中で、審議願うことになる。それぞれ説明対応をお願いする。全体で平成19年度予算（案）を確認したい。

全体：確認する。

助役：予算関係で、他に発言があれば求める。

政策財政班主幹：・国から、公債費対策として高利の地方債について、借り替え、一括償還が認められるとの情報がある。今後示される条件に合うものは、対処していきたい。

- ・組織機構改革に伴い、予算書については新組織にあわせて編集作成する。

・予算案の備考欄に示す主な増減要因や、主要事業調書等については、後日示すので、後ほど、チェック願いたい。

町民生活課長：組織機構改革で、他の部署から移行される事業等に伴う、各委員会での説明はどうか。

助役：・現行部署で説明するのが、原則になる。予算書に記載される課と違う事になるので、議会事務局と調整を図り、各委員長に事前にお知らせしておかなければならない。

・平成19年度予算は、バランスの取れた財政構造の構築に向けた通過点であることを、全体で確認する。

2 その他

議会事務局長：庁舎内での喫煙が廃止され、職員は裏玄関で喫煙しているが、議員より苦言を呈されている（執務時間早々の喫煙など）。

助役：各課長を通じて、職員にモラル喚起を努められたい。

[会議終了：14時15分]